

動画も見れるよ!

みんな！菊池温泉においでよ！



商工会の会員と一緒に温泉を満喫する被災地の子どもたち

※ AR 動画の視聴方法は 39 ページをご覧ください。



1_ 菊池市商工会青年部の会員の皆さん 2_ 菊池市商工会女性部が菊池の食材を使った手作りカレーを提供 3_ ゆるキャラたちと一緒に「負けんばい 熊本！」 4_ 菊池米のつかみ取りに挑戦。お土産ができました 5_ 会員がつくる綿菓子ができあがるのを待つ子どもたち 6_ 食べ過ぎ注意！おかわり自由のカキ氷と綿菓子 7_ 参加者全員笑顔でハイタッチ

子どもたちの声



岩村朱莉さん
津森小6年

温泉に招待していただきありがとうございます。バザーやくまモンのショーがあつて楽しかったです。温泉がとっても気持ち良くてリラックスできました。



松田竜空さん
津森小5年

スーパーボールすくいと温泉が楽しかったです。カレーがとてもおいしくて何回もおかわりしました。またみんなで菊池に遊びに来たいです。



菊池市商工会青年部長
櫻木淳さん(菊池平野)

温泉でリラックスしてほしい

被災地の人たちはお風呂にもあまり入れない環境だと聞いたので、菊池温泉に招待しようということになったんです。思っていた以上に子どもたちが元気そうでした。安心して遊んでいる姿を見てうれしかったです。みんなの笑顔でこっちが元

気になれました。被災した部員もいましたが、みんな元気なももらっていたと思います。今回の企画は自分たちだけではできませんでした。協力していただいた親会や温泉旅館組合、行政、ボランティアの皆さんに感謝しています。

だき感謝しています。子どもたちの笑顔を見て安心しました。住む家をなくし、一人で寝たりトイレに行けなくなったりした子どももいます。これからもしっかりと見守っていききたい」と話しました。

子どもたちは会場の菊池市体育センターに到着すると到着を待っていた参加者と笑顔でハイタッチ。商工会女性部の手作りカレーをみんなで食べたあと、乗り物で遊んだり、綿菓子やカキ氷を食べたりしながら部員やスタッフと交流をしました。サプライズでくまモンなどゆるキャラたちが登場すると、歓声を上げてはしゃぎまわっていました。たくさん遊んで汗をかいたあとは、お待ちかねの菊池温泉へ。久しぶりの大きなお風呂で、みんな気持ちよさそうに汗を流していました。

菊池市商工会青年部の会員が6月4日、熊本地震で被災した益城町の子どもたちを招き、レクリエーションを楽しんだり温泉に入ったりして交流しました。被災地の子どもたちの心と体を癒やしてあげたいと同部が企画。商工会女性部や関係団体と連携し、益城町の津森小学校の児童と保護者約70人をマイクロバスで送迎してました。

被災地の子どもたちを癒やしたい